

2019年度（平成31年度、令和元年度）は、青梅学園の建替が具現化し、それを中心に据えながら、法人運営をすすめてきた。法人運営について話し合う「経営推進会議」には、指田修理事長にも毎回参加いただき、協議を進めてきた。今年度は、昨年度と変わらぬ体制で施設長、主任も安定した運営を行うことが出来てきた。法人としては、青梅学園の建替と引き続き永続可能な体制を整備すべく、ガバナンスの強化に力を入れ、進めてきた。

青梅学園の建替工事は、8月1日に東京都から正式内示をいただき、設計と施工管理を健康設計さんをお願いすることとした。10月16日取壊し入札、1月15日に建設入札、ともに佐久間建設株式会社が落札し、2月6日地鎮祭、建設開始となった。

青梅学園の清瀬の代替施設への引っ越しが、11月1日と決まり、青梅学園内の片付けや引っ越しの準備と清瀬代替施設が使えるようにするため、旧東村山ナーシングホームから、備品の搬入を行ったりと準備を進めてきた。11月1日には、利用者は、新宿のシャロームみなみ風にバスで移動し、食事をごちそうになり、青梅学園のスタッフが準備できたところで、清瀬に着き、代替施設での生活が始まった。最初は、スタッフも施設内で迷うほど広い場所で、2名1室で暮らし始めましたが、本年1月ぐらいからは、個室の一人使用が増えてきました。常勤スタッフは、清瀬まで直接に行き、非常勤スタッフは、ウィークデーは、毎日、送迎車で移動を保障している。また、高齢虚弱、また、重篤な症状のある利用者には、高齢施設や高齢対応の病院に異動していただいた。そして、1名の利用者が、2月に入院した病院でお亡くなりになった。

青梅学園の引っ越しに際し、12月1日よりバックアップしていたケアホーム南風を移転新築を行い、4名の定員から、2ユニット5名ずつの10名定員とし、それに、2名の短期入所を設けた。青梅学園からの1名の地域移行者を含め、定員10名をかすみの里利用者で埋めることが出来た。

採用については、マイナビ、フェイストゥ福祉などの応援もいただきながら、力を入れ必要な配置を確保した。法人全体としても中規模法人を目指し、毎年定期的な採用を行い、優秀な人材を採用し、育て上げ、法人の力にすることを目的にしているわけだが、新人の採用については、必要人数を確保できるようになってきている。12名の採用通知を出し、

3名の承諾者があった。新規採用は、青梅拠点で新卒は、2名。非常勤から常勤に2名変更になり、元スタッフが再就職した。新宿拠点では、新卒2名と年度途中の採用者がいました。

理事会評議員会を定例的に開き2019年度平成31年度、令和元年度）の事業の推進を図った。今年度は、法律の改正に伴う小規模な規約の変更等の業務などを行った。

又、独立行政法人医療機構へは、通所施設の建設費用の借入金償還金も含め、滞りなく、支払いを行った。

行事については、青梅拠点では、納涼大会、通所施設かすみの里と障害者支援施設青梅学園合同で行った。納涼大会は、今年で現在の園庭では、最後となるもので賑やかに行うことが出来た。避難訓練については夜間は、青梅学園・ケアホーム南風、日中訓練の場合は青梅学園・かすみの里合同による訓練を実施した。11月からは、それぞれの施設で単独で行った。

新宿拠点は、シャロームみなみ風も5年目を迎え、障害者支援施設の入所利用者、通所部門の利用者も満床となり、安定した運営が出来るようになってきた。就労継続支援B型・カフェおんぶらーじゅの売り上げも好調で、ポップコーンの製造販売が今年度も順調に推移している。また、地域交流ルームも東社協をはじめ多くの方にご利用いただいているようである。本格的な返済も始まったが、本部会計へ建設費積立への繰り入れも出来るようになってきている。

シャロームみなみ風の行事では、本年もアミーゴフェスティバルを行い、多くのボランティアの参加も得、青梅からも販売のお手伝いにも参加した。

保健衛生関係については、日常的には、健康診断、適宜の通院や訪問歯科等を利用して健康保持に努めてきた。手洗いやコアクリン（微酸性次亜塩素酸水）での消毒は、継続的に行ってきた。また、冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染対応のため、家族も含めての入室制限なども行ってきた。また、個別の疾病等による受診や入院手術なども対応してきた。その結果、インフルエンザやノロウイルスの感染症は防げてきたが、2020年に入ると中国から武漢熱のうわさを聞き、クルーズ船の集団感染とニュースで聞くだけであったが、あっという間に、日本国内でも新型コロナウイルス感染が広がり、それへの対応を余儀なくされている。

地域支援においては、相談支援事業所にて、多くの方の利用に応え、青梅、新宿ともサービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。ケアホーム南風は、11月末までは、4名で。12月1日から新建物で10名の利用者と増員となった職員で歩み出した。12月8日には、開所式を理事長、名誉理事長のご臨席をいただき、行った。楽しく、仲良く暮らしている。旧メンバー4名は、高齢化等による配慮や通院等も増えている。

以上事業の概況報告とさせていただきます。

## 2019年 建替え前の園舎の前で

